

BGM、字幕スーパー付きスライドショーソフト xyslide [概要]

ひららプロジェクト
http://www.hirara.jp
2007/1/20

1 xyslideの概要

・ xyslide は、デジタルカメラ等で撮影した画像ファイルを撮影した順やファイル名の順で次々と表示するフリーソフトです。

- ・ MP 3 という形式の音声ファイルを用意すると音楽も一緒に再生できます。
- ・ 画像ファイルと同じ名前のテキストファイルを用意すると字幕スーパーを表示できます。
- ・ 画像ファイルと同じ名前のMP 3 ファイルを用意すると解説アナウンス付きで表示します。
- ・ CD-R にファイルをコピーして自動的に再生することができます。

2 ダウンロードの前に

xyslide をダウンロードする前に次のソフトをダウンロードしてパソコンにインストールしてください。ソフトの入手は Google などで検索してください。

- (1) [解凍レンジ](#) L Z H ファイルを解凍するソフトです。
- (2) [JTrim](#) 操作が簡単な画像編集ソフトです。
- (3) [Windows Media Player](#) 音声等の再生、表示、編集ソフトです。v10 以降のものを使用。

3 xyslideのダウンロード

Vector からダウンロードします。[xyslide 20061217](#) が最新版です。

解凍レンジなどの解凍ソフトをあらかじめダウンロードしておいてください。

4 xyslideのファイル



5xyslideとxyslideautoについて

- xyslide には xyslide と xyslideauto の2種類があります。
- xyslide はファイル名の順に再生します。
a00 a01 a02 a03 の様にファイル名は同じ桁数でつけてください。
- xyslideautoは、imgフォルダの中にあるxyslideauto.da1というファイルに記載された順序で再生します。
a00 a03 a02 a01 の様に変更が簡単にできます。
- imgフォルダの中に、さらにフォルダを作成することができますが、xyslide はフォルダに関係なくファイル名の順で再生しますので注意してください。

2つの違い一覧	xyslide.exe	xyslideauto.exe
再生順	ファイル名(パス)昇順	撮影順
枚数	無制限(メディア、メモリの容量による)	無制限(メディア、メモリの容量による)に変更
再生開始までの時間	短い	長い バージョン「20061023」から高速開始可能
		バージョン「20061107」からデータファイルをテキストファイル1本にしました
再生番号	カウントアップ	カウントアップに変更
パスの表示	imgフォルダ以下のパス	imgフォルダ以下のパスに変更
	カメラが一台なら、ファイル名が撮影順になっているので、こちらを使うことをお勧めします	複数のカメラで撮影したものなら
		こちらを使うことをお勧めします
		初期設定ではこちらがオートランします。
		xyslideauto.da1を編集することで再生順を自由に変更できます。充分注意して編集して下さい。

6 サンプルの実行

(1) xyslide かxyslideautoをクリックしてサンプルを実行してみてください。

(2) 鳥の鳴き声は、BGMファイルで bgm フォルダに入っている MP3 形式のファイルです。

ナレーションは、img フォルダに入っている MP3 形式のファイルです。

字幕スーパーは、img フォルダに入っている T X T 形式のファイルです。

(3) 停止するには、ESC キーを押すか右クリックをすると右のようなメニューが出てきますので終了を選んで左クリックします。

BGMや字幕スーパーの表示のタイミングで、メニューが出てこない場合がありますので、何回か試してください。

この表を閉じる
前画面
ジャンプ
次画面
撮影日非表示
表示時間 5
表示時間 7
表示時間 10
音量調節
BGM次へ
BGM0ff
音声0ff
字幕設定
原寸
終了

7 各ファイルの説明

(1) bgm フォルダ



readme
テキストドキュメント
1 KB



uguisu

全体に流れる BGM ファイルです

(2) img フォルダ

sample1	ファイル フォルダ	2007/01/11 5:40
readme	1 KB テキストドキュメント	2005/06/09 16:16
xydscn0000	52 KB JPEG Image	2005/06/14 9:50
xydscn0000	81 KB MP3 オーディオ ファイル (mp3)	2006/09/21 13:14
xydscn0000	1 KB テキストドキュメント	2006/11/02 10:39
xydscn0001	83 KB JPEG Image	2006/11/08 10:15
xydscn0001	1 KB テキストドキュメント	2006/10/23 12:43
xydscn0002	49 KB JPEG Image	2006/11/02 13:09
xydscn0002	1 KB テキストドキュメント	2006/10/20 9:54
xydscn0005	49 KB JPEG Image	2006/11/02 13:09
xydscn0005	45 KB MP3 オーディオ ファイル (mp3)	2006/09/21 13:10
xydscn0005	1 KB テキストドキュメント	2006/10/20 9:49
xydscn0006	56 KB JPEG Image	2006/11/02 13:09
xydscn0006	133 KB MP3 オーディオ ファイル (mp3)	2006/09/21 13:12
xydscn0007	31 KB JPEG Image	2006/11/02 13:10
xydscn0007	56 KB MP3 オーディオ ファイル (mp3)	2006/09/21 13:12
xydscn0008	75 KB JPEG Image	2006/11/02 12:44
xydscn0008	1 KB テキストドキュメント	2006/11/02 10:42
xyslideauto	1 KB DA1 ファイル	2006/12/17 14:09

xydscn001.jpg と同時に xydscn001.mp3 があれば音、xydscn001.txt があれば字幕スーパーが流れます。

(3) xyslideauto.dat1

img フォルダの中に xyslideauto.dat1 がなくても、xyslideauto を実行すると自動的に生成されます。

サンプル版の xyslideauto.dat1 の中身です。

xyslide の場合は次の順序で再生されます。

```
xydscn0000. jpg
xydscn0001. jpg
xydscn0006. jpg
xydscn0005. jpg
xydscn0002. jpg
xydscn0007. jpg
xydscn0008. jpg
sample1¥xydscn0004. jpg
sample1¥xydscn0003. jpg
```

```
xydscn0000. jpg
xydscn0001. jpg
xydscn0002. jpg
sample1¥xydscn0003. jpg
sample1¥xydscn0004. jpg
xydscn0005. jpg
xydscn0006. jpg
xydscn0007. jpg
xydscn0008. jpg
```

(4) startup.txt

メモ帳などで編集し、7桁の数字で全体の表示方法を設定します。

サンプルの startup.txt の中身です。

```
1112630
撮影日 無0 有1
BGM 無0 有1
音声 無0 有1
表示時間 2秒2 5秒5 7秒7 10秒0
字幕大きさ 無0 小1 中3 大6
字幕早さ 低速1 中速2 高速3
字幕色 自動0 白1 黒2 赤3 青4 緑5

1行目の最初の7文字のみ項目設定に反映されます
このファイルは無くても動作しますが xyslide 本体
の初期設定は 1115110 です
```

(5) Autorun

CD-R で自動起動するときの設定ファイルです。

サンプル版の中身です。

xyslide を起動したい時は書き換えてください。

```
[Autorun]
open=xyslideauto.exe
```

```
[Autorun]
open=xyslide.exe
```

CD-R に書き込むときは、すべてのファイル（フォルダ）をルートに書き込んでください。

BGM、字幕スーパー付きスライドショーソフト xyslide [実習]

ひららプロジェクト
<http://www.hirara.jp>
2007/1/20

1 xyslideのダウンロード

デスクトップに `xyslide10th.lzh` をダウンロードまたはコピーし解凍してください。
xyslide10th というフォルダができていることを確認して下さい。

2 bgmフォルダとimgフォルダを空にする

エクスプローラ（スタート→右クリック）で bgm フォルダと img フォルダを空にしてください。

3 画像ファイルをimgフォルダにコピーする

デジタルカメラ等の画像ファイルを img フォルダにコピーしてください。

4 画像ファイルの名前を再生順に名前を変更する

デジタルカメラで撮影した画像ファイルは、DSC000666 の様に自動的に名前がつけられて保存されています。再生したい順に aa001 aa002 のように変更してください。

再生の順序は 2.jpg より 11.jpg の方が早く再生されます。混乱しないためには、ファイル名の桁数は同じにしておいてください。

■ xyslide で確認する

xyslide をクリックするとファイル名順で再生することを確認してください。

5 画像ファイルの縦横を変換する

デジカメを垂直にして撮影した場合、スライドショーでは見にくくなります。

この場合、JTrim など画像編集ソフトで読み込み 90° 回転させて保存し直してください。

6 字幕スーパーを作成する

img フォルダ内で右クリック→新規作成→テキストドキュメントで画像ファイルと同じテキストファイルを作成してください。

■ xyslide で確認する

字幕スーパーが流れることを確認してください。

7 再生の順序を修正する

xyslide を使用する場合は画像ファイルの名前を変更してください。

xyslideauto を使用する場合は、img フォルダの中の xyslideauto.da1 を編集してください。

8BGMファイルを作成する

インターネットで MP3 ファイルをダウンロードするか Windows Media Player などで MP 3 ファイルを作成し bgm ファイルにコピーしてください。

■ xyslide で確認する

音楽が流れることを確認してください。

9表示方法を設定する

startup.txt を メモ帳などで編集し、7桁の数字で全体の表示方法を設定します。

```
1112630
撮影日 無0 有1
BGM 無0 有1
音声 無0 有1
表示時間 2秒2 5秒5 7秒7 10秒0
字幕大きさ 無0 小1 中3 大6
字幕早さ 低速1 中速2 高速3
字幕色 自動0 白1 黒2 赤3 青4 緑5

1行目の最初の7文字のみ項目設定に反映されます
このファイルは無くても動作しますが xyslide 本体
の初期設定は 1115110 です
```

9自動起動ファイルの設定

CD-R で自動起動するときの設定ファイル Autorun を 設定します。

xyslideauto を使用するならそのまま xyslide を起動したい時は書き換えてください。

```
[Autorun]
open=xyslideauto.exe
```

```
[Autorun]
open=xyslide.exe
```

10CD-Rへ書き込む

全部のファイルを CD-R のルートに書き込んで下さい。

音声ファイルフォーマット

MP3 [概要]

■MP3とは

MP3 (エムピースリー、MPEG-1 Audio Layer-3) はデジタル化された音声を圧縮する音声ファイルフォーマットのひとつで、通常の鑑賞に堪える範囲で元データの約 1/10 まで圧縮することができるといわれる。ファイルの拡張子は「.mp3」。

MP3 には著作権保護機能がないため、市販の CD から音楽をパソコンにコピーして、圧縮、インターネットを通じて配布・交換する海賊行為が世界的に問題となっている。

■Windows Media Playerとは

WMT (Windows Media Technology) は、Microsoft 社が開発したマルチメディア配信技術。音声・動画のファイルフォーマット、再生ソフトの「[Windows Media Player](#)」、エンコードソフトの「Windows Media Encoder」、著作権管理の「Windows Media DRM」などから構成される。

一昔前は、動画再生といえば Apple 社の QuickTime が有名だったが、インターネットが普及すると RealNetworks 社の RealPlayer が人気となった。この RealPlayer に対抗して Microsoft 社が独自開発したのが Windows Media Player 。

■音楽CDからMP3データを作る方法

[CD → WAV → MP3 のページ](#) 初心者向けの解説はこのページが詳しい

MP3 初心者を対象に無料のソフトだけを利用して音楽 CD から MP3 ファイルを作る方法を紹介しています。

■ボイスレコーダやカセットの録音テープからMP3データをつくる

■パソコンにマイクをつないでMP3データをつくる

■デジタルデータのエンコード/デコード

エンコードは、符号化ともいい、デジタルデータを一定の規則に従って、目的に応じた符号に変換すること。エンコードを行う機能 (ソフトウェアやハードウェア) を「エンコーダ」という。

デコードは、復号ともいい、エンコードの対義語。エンコードした情報を元に戻すこと。復号する機能を「デコーダ」という。

